

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

## 安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

<b>危険</b>	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
<b>注意</b>	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

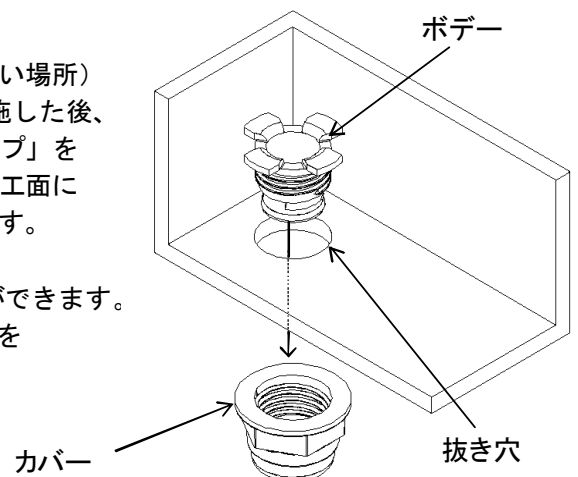
なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

## ■ 使用上の注意

<b>注意</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カバーの適正締付トルクは <math>0.8 \sim 1.0 \text{ N} \cdot \text{m}</math> です。締過ぎた場合、水抜きキャップが破損し雨水が浸入するおそれがありますのでご注意ください。</li> <li>・取付適正板厚は <math>t1.0 \sim t4.5 \text{ mm}</math> です。これ以外の板厚では、IP44 性能が保証できないのでご注意ください。</li> <li>・水抜きキャップはボックスの下面に取付けてください。これ以外の場所に使用した場合、IP44 性能が保証できないのでご注意ください。</li> <li>・塵埃が内部に無いことを確認してから取付けてください。十分に水が抜けなくなるおそれがあります。</li> <li>・扉を開ける際に水抜きキャップ内に残っている水がボックス内部に吸込まれることがありますので、取付部周辺には機器などを設置しないでください。</li> </ul>

## ■ 取付方法

- ① 穴加工のみで取付けられます。ボックス下面（水が溜まり易い場所）に、ドリル・ホルソー等の工具で  $\phi 20 \sim \phi 21 \text{ mm}$  の穴加工を施した後、ボックスの内側より「ボデー」を差込み、外側から「キャップ」を締付けてください。鉄製キャビネットに加工した際には、加工面にタッチアップペイント等で錆止め処理をする事をお勧めします。
- ② 金属製キャビネットの抜穴（ $\phi 20 \text{ mm}$ ）に直接取付けることができます。金属製キャビネット下面の穴栓を外した後、水抜きキャップを取付けてください。



仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。  
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は 2010 年 5 月現在のものです。